

小学校5年生の校外学習に対応

京丹後市立しんざん小学校の5年生（31名）の施設見学があり、当所から研究業務の概要と、水稻の品種改良の過程を「コシヒカリ」「京式部」等を例に説明しました。

また、事前に各家庭の1年間の米の消費量を調べてもらったり、生物多様性の維持など身近な話題についても簡単に触れ、「農業に関心を持ち、地元産品をたくさん食べ、多くの人に地元産品の良さを伝えることで、地域の農業者を応援して欲しい」と伝えました。

児童からは、「品種によって背の高さなどが違うのが判った」、「丹後のお米や野菜、くだものをたくさん食べようと思った」等の感想が聞かれました。

今後とも、地域に根ざした試験研究機関として、業務を通じて府内産品や地域農業への理解を深めてもらうよう取り組んでいきます。



水稻の生育の品種間差について説明

農林センター（丹後農業研究所）